

共同運営部門：＜周産期センター＞産科医療センター

－関係部署－

産婦人科

－概要－



2008年度より、市立貝塚病院産婦人科との集約化の結果、泉州広域母子センターとして再編され、当科は周産期センター産科医療センターとしての機能を担って8年目になる。

婦人科手術と悪性腫瘍の化学療法は市立貝塚病院にて産婦人科医が行い、当院では夜間休日の産婦人科一次・二次救急、分娩、母体搬送、産科手術を担当している。また、産科病棟(6階山側病棟)は2009年より完全母児同室を開始し、お母さんが静かな環境で母乳育児の確立をはかる事が出来る様に面会制限も施行している。

これにより以前にも増して小児科、内科、外科、救命救急センター等との緊密な連携のみならず泉州地域の産婦人科医院との病診連携も強め、ハイリスク妊娠の集学的管理や早産児の受け入れなどもしている。対外的には地域周産期センター及びOGCS(産婦人科相互援助システム)準基幹病院となり、母体の緊急搬送受け入れ数も毎年200件前後、産婦人科一次救急の受け入れは府下2位の実績がある。

外来診療体制は従前と変わらず、産科・婦人科ともに初診再診を受けることにしている。また2001年度より開始した助産婦外来は今後の妊産褥婦指導の中心となるべく、助産婦の特性を生かした外来づくりを行っている。更に、正常妊娠・正常分娩の方にも分娩・育児していただくため、助産師外来の拡充、4D超音波の導入、妊婦さんのためのマタニティヨガやオイルマッサージなどを取り入れた。更に、当院で分娩後、すぐにアイスクリームをサービスしており、産後食として祝い膳もご用意させていただいている。また、貝塚市・泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町の皆さんの分娩費用は市内扱いとしている。(詳しくはホームページ参照)

今後は全国的にも注目されているこのシステムを発展させ、広域に亘る中核病院としての役割を果たせるように間断なき努力をしていく所存である。



－実績－

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
分娩数 (含死産)	1,106	1,010	1,093	1,037	921	898
多胎/早産 (25週 500g以上 OK)	34/146	16/109	10/114	17/135	13/110	25/183
帝王切開	252	227	236	232	209	217
時間外 婦人科 手術	36	47	51	48	46	55
その他の 産科 手術	4	4	14	8	12	6
合併症 妊娠	224	547	517	463	322	554
母体搬送 受け入れ	208	150	206	179	104	175
時間外 救急	1,033	1,704	1,752	1,530	1,530	1,621
救命センター 症例	4	4	4	8	20	8